

平成28年度
事業報告書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

公益社団法人能代市シルバー人材センター

平成28年度事業報告

1 事業の概況

平成28年度の我が国経済をみると、アベノミクスの取組の下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いている反面、個人消費及び民間設備投資は所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となっています。

このような中、当センターの事業実績は、107,963千円と前年度を約3.3%、派遣契約額は11,413千円と前年度を約2.7%上回ることができました。また、今冬1月半ばからの降雪により除排雪の受注が前年度比68.0%増の2,192件と大幅に増加しました。

しかしながら、健康状態や家庭の事情等による退会や入会者の減少により、慢性的な会員不足が続いており、今冬の除排雪作業では地域住民のニーズに満足のいくサービス提供ができず、今後課題を残す結果となりました。

引き続き能代市をはじめ関係機関のご指導ご支援をいただきながら、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、地域社会のニーズに応え信頼されるセンターを目指します。

以下、事業実施状況を報告いたします。

2 事業実施状況

(1) 普及啓発と会員の拡大について

会報「シルバーのしろ」やホームページ、地元新聞を活用してセンターの活動状況を掲載するなど普及啓発に努めました。

また、28年度はシルバー人材センター法制化30周年を迎えました。これを記念して公共施設の清掃活動等無償ボランティア活動を実施し、センター事業をPRしました。

新会員の入会を促進するため、二ツ井地区で出張入会説明会を実施したほか、毎月2回、原則第1・第3木曜日に入会説明会を開催しました。

28年度は入会説明会に47名が参加し、うち21名が入会しましたが、会費未納や家庭の事情などの理由で45名が退会、会員数は前年度末より24名減の286名となりました。

(2) 就業機会の拡大と資質、能力向上について

就業開発委員会や就業開拓専門員が各施設や家庭などを訪問しチラシを、年末には、主な発注者にカレンダーを配布しました。また、会員、役職員による「一言セールス運動」を展開したり、市に対し公共事業の発注要請をしたりして、受注の拡大に努めました。

会員の資質や技能向上、後継者育成のため、秋田県シルバー人材センター連合会主催の講習会のほか、草刈りや剪定、障子・襖張りの講習会を行いました。

(3) 安全・適正就業の推進について

会報や地域班会議等で安全就業の遵守を会員に周知したほか、安全標語を募集するなど安全意識の向上を図りました。

6月を「安全就業準備期間」、7月を「安全就業強化月間」と定め、事務所の玄関に看板を設置し安全就業の周知に努めました。

結果、傷害及び賠償責任保険支払事故ともゼロとなりました。

(4) シニアワークプログラム地域事業・高齢者活躍人材育成事業について

秋田県シルバー人材センター連合会主催で、シニアワークプログラム地域事業2科目(調理補助員、パソコン実務(初級))、高齢者活躍人材育成事業2科目(刈払機操作、剪定作業)の講習会が実施され当センター会員も含めて合計37名の方々が修了しました。

(5) 労働者派遣事業の推進について

秋田県シルバー人材センター連合会と連携して労働者派遣事業に取り組みました。

受注件数 16 件 派遣就業延人員 2,591 人日 契約金額 11,413 千円

(6) 財政基盤の強化について

会員の高齢化、会員数の減少等により断念せざるを得ない契約もありましたが、会員が一丸となって取り組んだ結果、前年度を上回る実績となりました。

また、支出経費の適正で効率的な執行に努めました。

3 事業目標の達成状況

項目	目標値	実績値(見込)	差異(減△)
1. 会 員 数	360 人以上	286 人	△74 人
2. 就 業 率 (派遣含む)	85%以上	86.4%	1.4%
3. 受 託 件 数 (派遣含む)	4,100 件以上	4,016 件	16 件
4. 就 業 延 人 員 (派遣含む)	33,000 人日以上	32,385 人日	△615 人日
5. 契 約 金 額	112,000 千円以上	107,963 千円	△4,037 千円
6. 派遣事業受託収益	870 千円以上	868 千円	△2 千円